

【代表的な研究テーマ】

□ 中世ヨーロッパ史研究

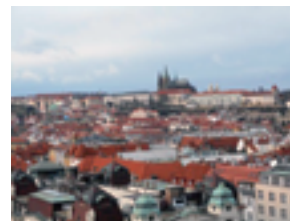
□ 図像資料の歴史教材化

キーワード：中世ヨーロッパ、チェコ、図像資料、歴史教育

研究の概要

・ 中世ヨーロッパ史研究

- ・ 具体的な専門は中世チェコ史になりますが、サブテーマとして、①中世の民族意識、②植民運動、③聖人崇敬、④宮廷文化、⑤初期宗教改革、などもあついています。また、ポーランドやハンガリーといった周辺の東中欧諸国、あるいはこの地域の近現代史にも関心をもっています。



プラハの街並み(丘の上に見えるのはプラハ城)

・ 中世図像資料の歴史教材化

- ・ 現在、各国の図書館で中世ヨーロッパの図像資料のデジタル化がすすめられています。教員志望の学生・大学院生とともに、そうした図像資料の解読と、これを利用した世界史授業の構築を模索しています。



図像資料に関する研究成果は静岡大学のリポジトリから無料で読むことができます。

静大TVでも、研究の概要を紹介しています。ぜひご覧ください。



中世の彩飾写本(衣装や道具、身振りがわかる)

社会連携へ向けたアピールポイント

- ・ 中世ヨーロッパ社会は現代日本人にとっての異文化です。昨今ますます重要視されるようになった多文化共生の実現に向けて、自分とは異なる文化や規範をもつ人々の理解を促進するために、歴史はとても良い材料となります。出張授業ではそうした内容を意識して教えています。
- ・ 教員を目指す学生・大学院生と、現役の社会科教員、大学教員の交流の場として、「地歴教員養成講座」を開催しています。一般市民、高校生も参加することができます。これからはじまる世界史探究などの授業作り、高校生の研究指導などもご相談ください。
- ・ 専門がチェコ史であるため、初級程度ならチェコ語講師をつとめることも可能です。
- ・ 一般向け書籍として、以下のものに関わっています。
 - ・ 執筆「ヤン・ジシュカ」『侠の歴史 西洋編・下』(清水書院)
 - ・ 執筆「カール4世」『悪の歴史 西洋および中東編・下』(清水書院)
 - ・ 翻訳『中世仕事図絵』(八坂書房)
 - ・ 編著『大学的静岡ガイド』(昭和堂)

■ その他の社会連携活動

- ・ 静岡歴史教育研究会
- ・ 発酵とサステナブルな地域社会研究所



藤井 真生

学術院人文社会科学領域
人間・社会系列
教授

■ 相談に応じられる関連分野

- ・ 西洋史理解(異文化理解)
- ・ 社会科教育(研究授業作り、歴史探究科目)
- ・ チェコ語／チェコ史／チェコ文化

